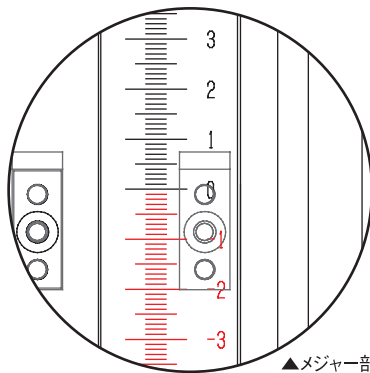


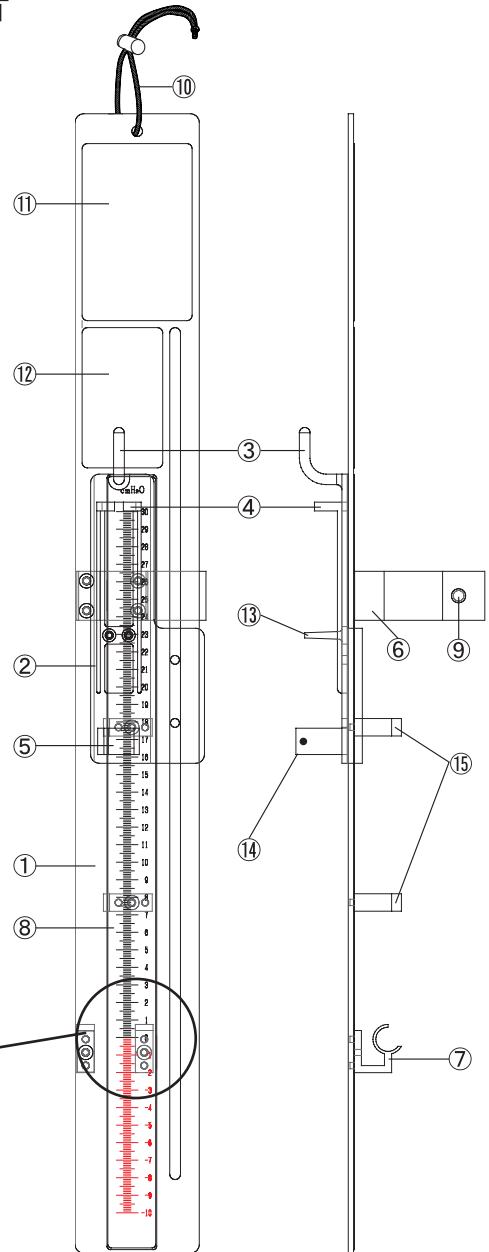
シラスコン[®] 回路用ラックⅢ 取扱説明書

■ 製品仕様

番号	部品名	概要
①	ベースプレート	薄緑アルミ板(厚み:3mm)
②	調整プレート	回路を固定して圧調整するためのもの
③	フック	回路、装着部
④	回路落下防止フレーム	
⑤	回路固定フレーム	
⑥	ポールクランプ	ベースプレートにビス止め
⑦	レーザーポインター取付台	
⑧	メジャー	1mm刻みで-10cmから+30cmまで マイナス目盛り赤字、プラス目盛り黒字
⑨	ポールクランプボルト	点滴ポールに固定
⑩	セーフティーロープ	回路用ラックⅢの落下防止のために 必ず点滴ポール上部に掛ける
⑪	注意ラベル	使用上の注意
⑫	回路装着法ラベル	回路装着方法
⑬	回路安定化用突起	
⑭	定量計用装着安定化用ビス	
⑮	レーザーポインター収納台	
=	レーザーポインター	同梱、安全基準(JISクラス2)



▲メジャー部拡大図



■ 使用方法

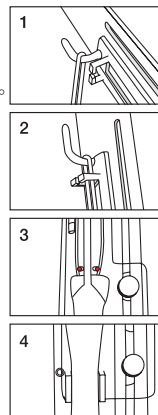
1. [本品取付]

1. ポールクランプを点滴ポールに取り付け、0点設定付近の高さでポールクランプボルトを手で締めて仮止めをする。
2. レーザーポインターに付属の電池を2本入れる。

2. [回路装着]

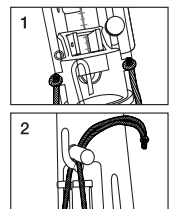
回路装着方法

- 1 回路のハンガーを調整プレートのフックにかける。
- 2 回路のハンガーをフレーム内におさめる。
- 3 回路のハンガーを突起の外側に通す。
- 4 回路本体をはめ込む。



<定量計用>

- 1 回路を調整プレートにはめ込む。
- 2 ロープをフックにかけ、クリップを調整する。



3. [設定方法]

●プラス圧に設定する場合（通常脳室ドレナージに適用）

1. レーザーポインターをラック裏側のレーザーポインター取付台に設置する。
2. 0点設定を次のように行う。
レーザーポインターを設置した状態でレーザーを照射し、患者の外耳孔と黒メジャーのメモリの0点が一致する高さでポールクランプボルトを締めて点滴ポールに固定する。
0点設置時、レーザー光が患者、または他の人の目に直接当たらないように注意すること。[目に傷害を及ぼす恐れがある。]
3. 当社の指定する脳室ドレナージ回路本体を調整プレートにはめ込み、落下防止のために回路ハンガー部を調整プレートフック部にかける。
4. 黒メジャーを用いて回路の髄液滴下部と設定値（プラス圧：0～30cm）が一致するように調整プレートの高さを調整し固定する。
5. 更に安全のためにセーフティーロープを必ず点滴ポール上部にかけ、長さ調整する。
6. 回路と排液バッグを接続し、ドレナージを開始する。
7. 尚、回路用ラックⅢ使用に当っては、使用する回路の添付文書を参照すること。

●マイナス圧に設定する場合（通常腰椎ドレナージに適用）

1. レーザーポインターをラック裏側のレーザーポインター取付台に設置する。
2. 0点設定を次のように行う。
レーザーポインターを設置した状態でレーザーを照射し、患者の外耳孔とメモリの0点が一致する高さでポールクランプボルトを締めて点滴ポールに固定する。
0点設置時、レーザー光が患者、または他の人の目に直接当たらないように注意すること。[目に傷害を及ぼす恐れがある。]
3. 当社の指定する脳室ドレナージ回路本体を調整プレートにはめ込み、落下防止のために回路ハンガー部を調整プレートフック部にかける。
4. 赤メジャーを用いて回路の髄液滴下部と設定値（マイナス圧：-0～-10cm）が一致するように調整プレートの高さを調整し固定する。
5. 更に安全のためにセーフティーロープを必ず点滴ポール上部にかけ、長さ調整する。
6. 回路と排液バッグを接続し、ドレナージを開始する。
7. 尚、回路用ラックⅢ使用に当っては、使用する回路の添付文書を参照すること。

【使用上の注意】

- 落下防止のためセーフティーロープを必ず点滴ポールに掛けて使用すること。
- ポールクランプのボルトは必ず手で確実に締めること。
- 使用前に必ず破損等がないことを確認すること。
- 本品は脳室ドレナージ回路及び腰椎ドレナージ回路専用の設計である。安全上必ず当社の指定する脳室ドレナージ回路及び腰椎ドレナージ回路を使用し、該当する回路の添付文書を参照すること。
 - 使用可能な回路（カタログ番号）：
775N、776N、779N（定量計用）及び772 N（定量計用）
- 回路の装着に当っては、回路装着法（シール）を遵守し、所定の位置に正しく装着すること。
- レーザーポインターの出力は安全基準（JISクラス2）により定められた1mW未満に設定しているが、人の目に直接レーザー光を当てないこと。[目に傷害を及ぼす恐れがある。]
- レーザー光をのぞきこまないこと。
- レーザーポインターを子供に使わせないこと。
- 0点設定時以外は、レーザーポインターを本体裏側の収納位置に縦方向に収納すること。[水平状態のままだと、チューブが引っ掛かったりする恐れがある。]
- 回路のハンガーチューブを調整プレートのフックに必ず掛けて回路を設置すること。
- 本品の消毒は、消毒用エタノールで拭き取る方法で行うこと。[これ以外の方法では、ひび割れ、変形、変色等を生じる恐れがある。]
- 過度の力を加えないこと。[破損する恐れがある。]
- 本品を熱源に近い所に置いたり、熱をかけないこと。[ひび割れ、変形、変色等を生じる恐れがある。]
- ひび割れ、変形、変色等を生じた場合は、新しい製品と交換すること。
- 長期間使用しない時は、レーザーポインターから電源をはずすこと。[電池から液漏れする恐れがある。]
- レーザーポインターの電池が消耗したときは、市販品（単4形：2個）を使用すること。
- 電池の向きを正しく装着すること。また、古い電池を使用しないこと。[発熱したり故障の原因となる可能性がある。]
- レーザーポインターは精密機器のため、叩いたり、落とさないこと。また、分解や改造しないこと。

販売元

株式会社カネカメディックス

東京事業所 〒140-0002 東京都品川区東品川12-5-8（天王洲パークサイドビル） TEL.(03)5461-3080
大阪事業所 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4（朝日新聞ビル） TEL.(06)6226-4505
札幌営業所 〒060-0052 札幌市中央区南2条東1-1-14（住友生命札幌中央ビル） TEL.(011)222-9501
名古屋営業所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-15-1（名古屋ダイヤビル2号館） TEL.(052)561-4555
福岡営業所 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-1-10（福岡プロポビル） TEL.(092)761-2341